



「不正使用対策・PCI DSS セキュリティセミナー」

決済不正スクリーニング業務の最適化及び最新動向

株式会社スクデット
代表取締役 細江啓太
CMO 伊藤拓典

ジグザ株式会社
代表取締役 櫛田和洋

Agenda

第1部 不正の最新動向

- スクデット会社概要
- 本日のキーワード
- 最新の手口・傾向「決済から決済周辺へ」
- 新たな手口 ①なりすまし会員登録
- 新たな手口 ②アカウント乗っ取り
- 新たな手口 ③オーソリアタック
- 新たな手口への対抗策
- iovationサービス概要
- iovation 管理画面イメージ
- 導入事例
- まとめ
- もう一つの課題

第2部

スクリーニング業務の最適化とRPA

- ジグザ会社概要
- 企業内に点在するEC・不正対策システム
- 一般的な不正対策の業務の流れ
- RPAとは？
- RPAの導入ハードル
- 弊社のアプローチ
- 導入事例

第1部 不正の最新動向

株式会社スクデット 代表取締役 細江啓太
CMO 伊藤拓典

株式会社スクデット 会社概要

- 通称社名 株式会社 スクデット※非上場
[登記名：株式会社 スクデット] (Scudetto Corporation.)
- 所在地 〒104-0028東京都中央区八重洲2-11-7 東栄八重洲ビル10F
TEL 03-4520-5550
URL <http://www.scudettoasia.com/>
- 設立 2011年4月25日
- 代表 代表取締役 細江 啓太
- 事業内容 不正対策・迷惑行為対策におけるコンサルティング
 - **ReD Shield** 不正対策システム・ソリューションの販売代理店
 - **iovation** デバイス認証ソリューションの販売代理店ECサイト売上向上におけるコンサルティング
 - **SaleCycle** ECサイト売上向上ソリューションの販売代理店
 - **Kibo RTI** リアルタイムパーソナライゼーションプラットフォームの販売代理店

- 販売代理
契約製品



※ 「iovation」及び「iovation」は米国iovation社の登録商標です。
「SaleCycle」および「SaleCycle」は英国SaleCycle社の登録商標です

本日のキーワード

なりすまし
アカウント乗っ取り

プリペイドカード
・バーチャルカード
発行不正

カードオーソリ
・アタック

マイページ不正

ポイント・マイル
不正

スクリーニング業務
の効率化・自動化

最新の手口・傾向 「決済から決済周辺へ」

ECサイトでの
不正対策規制強化

カード情報非保持化
・非通過型化対応

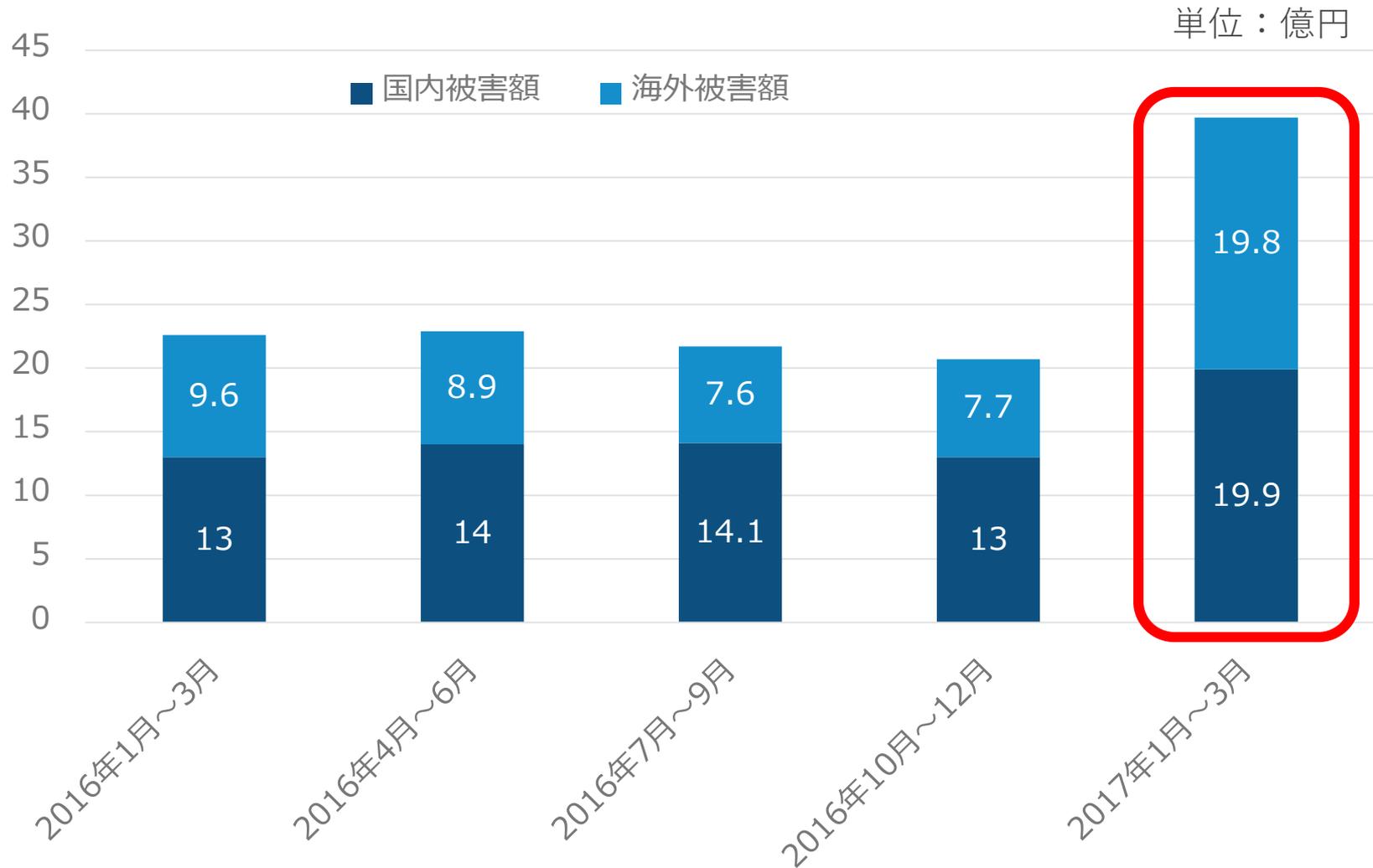
カード情報の流出が減少

カード番号盗用もありつつ
不正は多様で新たな手口へ！

決済不正対策も一般化し、
決済に対する不正行為の
難易度は上がっている

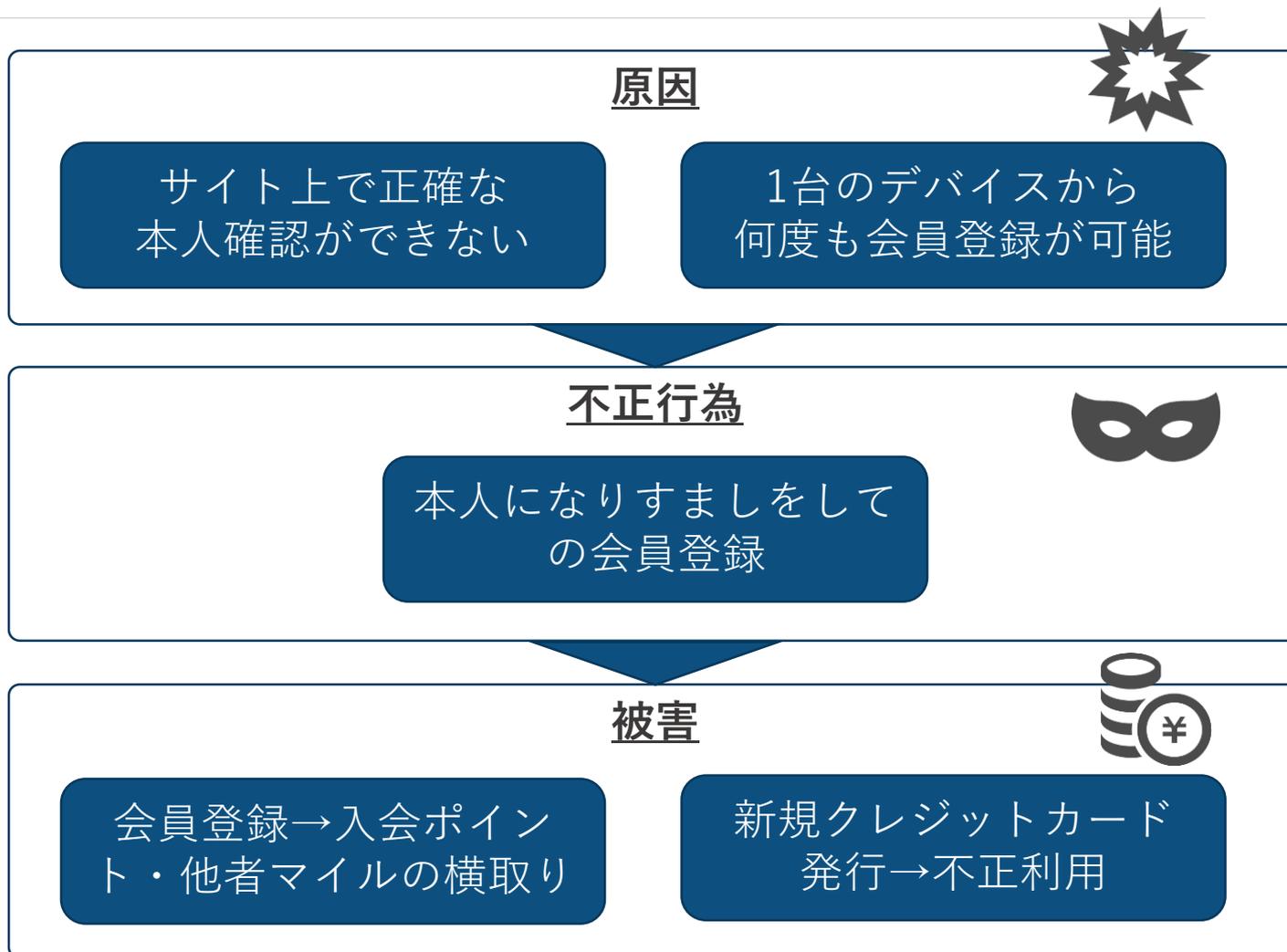
※ReD ShieldはGMOペイメントゲート
ウェイ様の決済基盤オプションとし
て、40社以上にご利用頂いています。

【参考】クレジットカード番号盗用被害額の推移



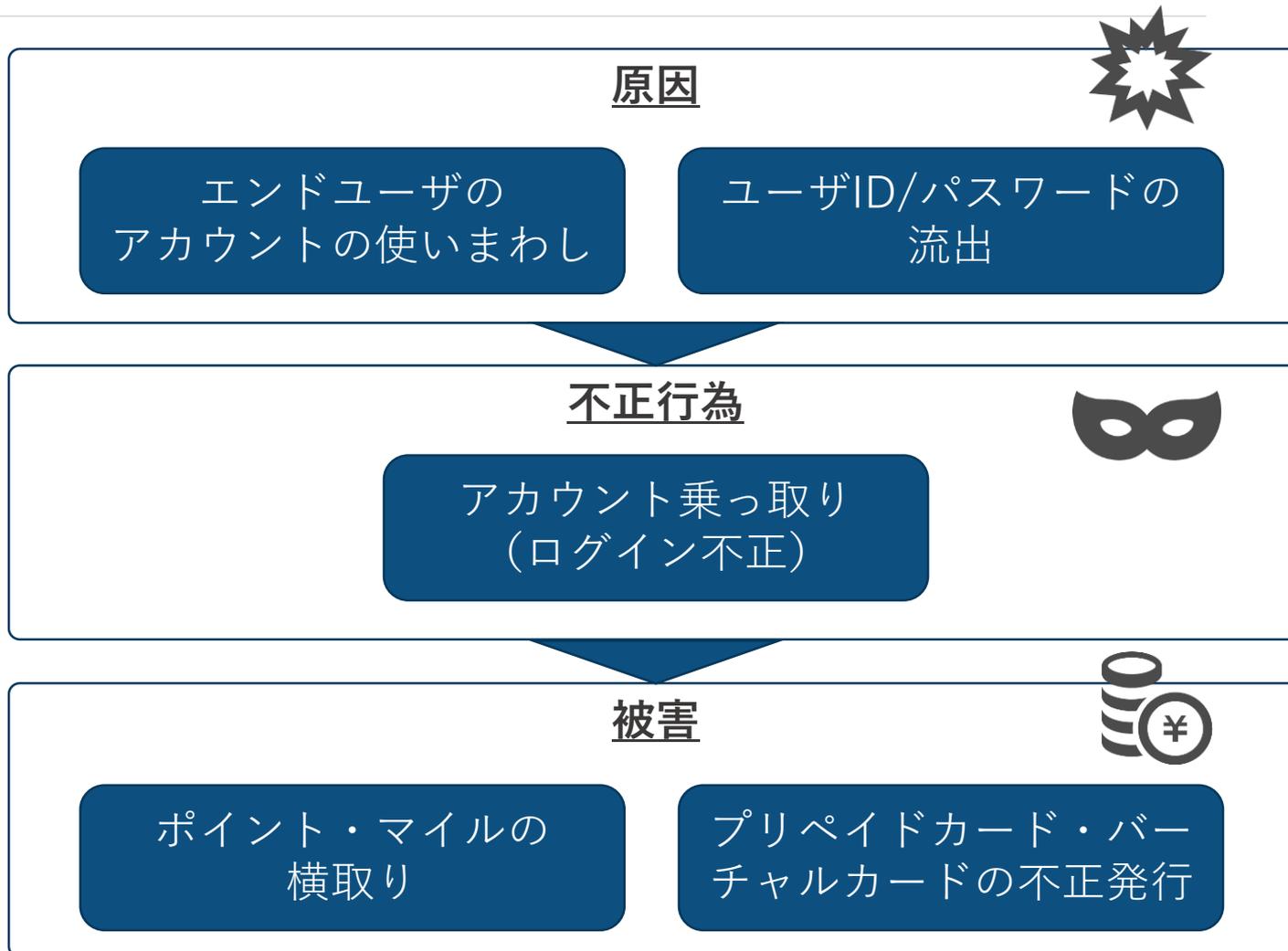
※引用・加工：一般社団法人日本クレジット協会「四半期調査：クレジットカード不正使用被害額調査」
http://www.j-credit.or.jp/information/statistics/download/toukei_03_g_1706330.pdf

新たな手口 ①なりすまし会員登録



犯罪者はターゲットとしたサイトでbotを利用し一気に繰り返し会員登録を行うため、被害額は大きくなる傾向があります。

新たな手口 ②アカウント乗っ取り（ログイン不正）



**犯罪者は大量のID/パスワードを入手し、
複数サイトで一気に犯罪行為を行います。**

新たな手口 ③オーソリアタック

原因



CAPTCHAがない・
対応されている

1台のデバイスから何度も
カードオーソリが可能

不正行為



botが自動でカード
期限・CVVを辞書・
総当たりで確認する
行為

オーソリアタック

被害

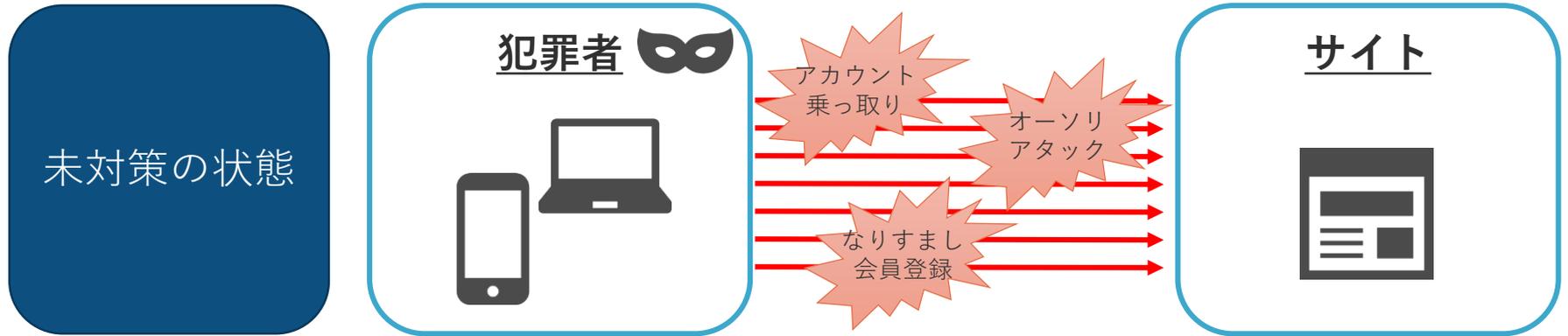


確認したクレジットカード
を使い他サイトで不正購入

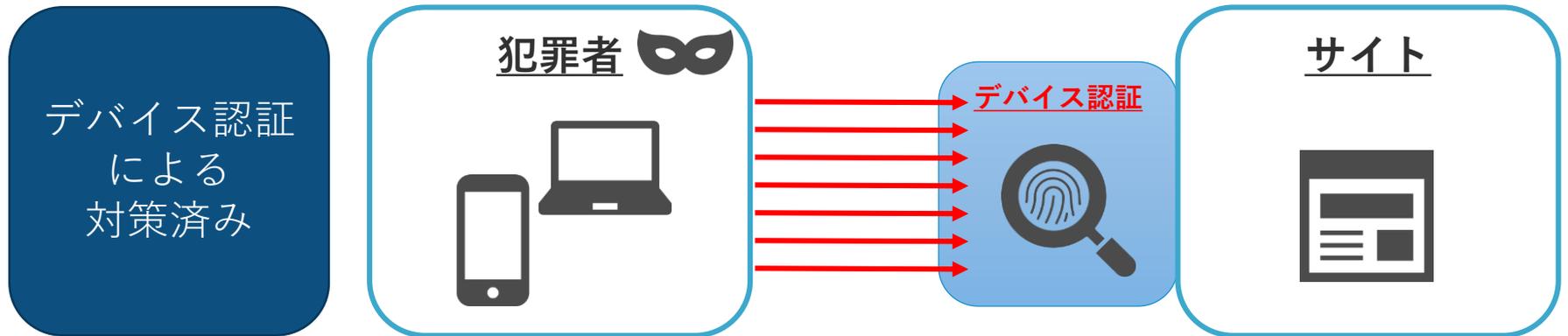
高額なオーソリ手数料が
課金される

**有効なクレジットカード番号と期限・CVVのセットを
収集する専門の犯罪集団が存在するものと思われます。**

新たな手口への対抗策



1つのデバイスから何度もサイトアクセスして様々な行為ができてしまう。

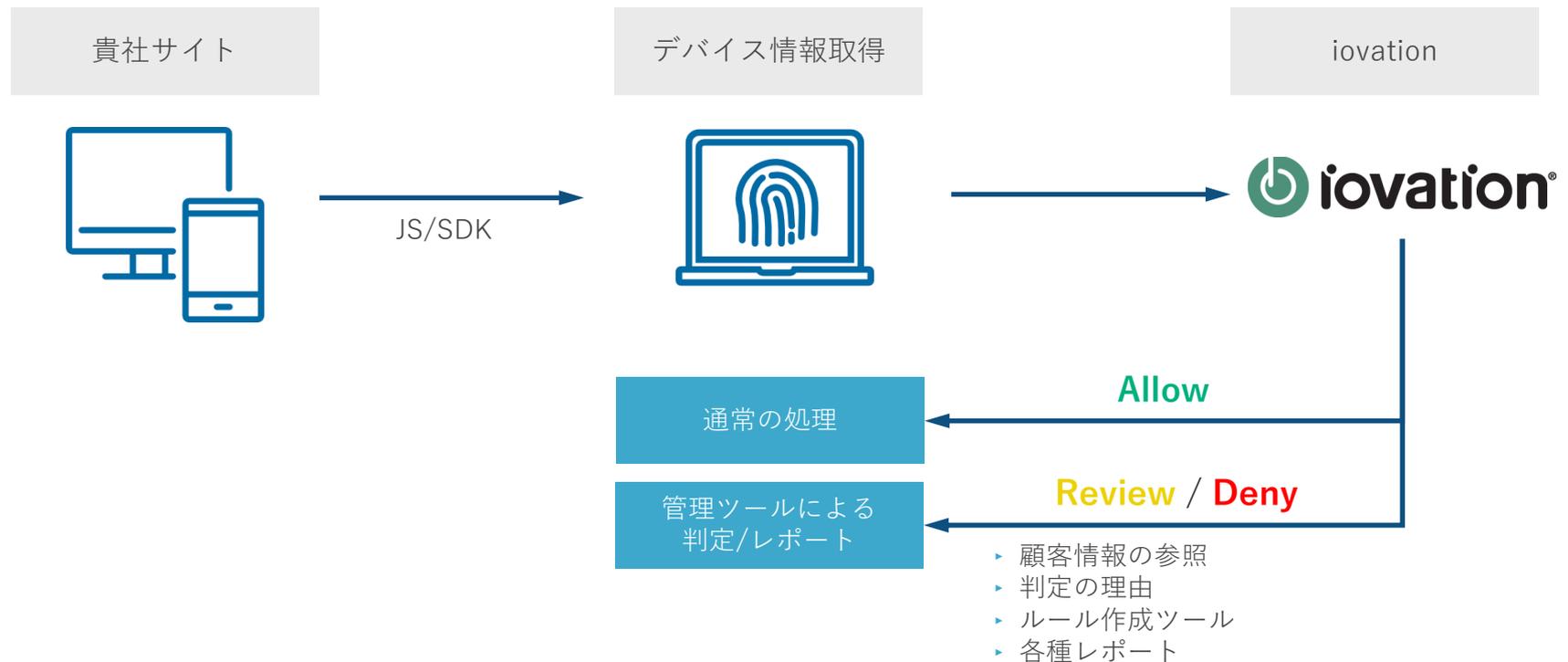


1つのデバイスから複数のアクセスを検知して、ブロックする。

デバイスを一意に認識可能な特殊技術を備えた「デバイス認証」を導入することで新たな手口には対抗可能です。

iovationサービス概要

- ユーザのデバイス（PC/スマホ）情報をもとにリアルタイムで判定
- 取引すべきか否かの審査結果を、許容リスクに沿ってAllow/Review/Denyで返答
- 貴社不正モニタリングシステムへの組み込みが可能



iovation 管理画面イメージ

- iovationが判定した全てのトランザクションとその判断理由、取得したフィールド情報をリアルタイムで閲覧可能にするWebベースの管理ツール
- ルールの設定、ブラックリスト登録、デバイスとアカウント関連性などすべての詳細が閲覧可能

Account 1: This account is not affected [Edit Business Rule Exclusions](#) [Add Evidence](#) [Retract/Ignore Evidence](#)

12 Associated Devices (0 affected) First login: February 11, 2013 11:27:39 AM PST
6 Associated Accounts First seen from device: 642796042009599750

Account Details [Open All](#) [Close All](#)

Association Matrix

	Devices (with date first seen by anyone)			
	January 11, 2012	February 15, 2013	February 15, 2013	February 25, 2013
Accounts	642796042009599750	813843909045301854	239654291486832969	21515917774417
Account 1	•	•	•	•
Account 3*	•		•	•
Account 2*	•			•
Account 5	•		•	•
Account 4	•		•	•
Account 6			•	•
Account 7*				•

Transaction History

Currently showing: Last 30 Days

Date / Time	Tracking Number	Result	Rule Set	Rule
June 9, 2013 4:30:11 AM PDT	185645909741486369	REVIEW	login	Accounts Per Device - 3
June 9, 2013 4:30:11 AM PDT	183543383664212539	DENIED	login	Geolocation Mismatch
June 9, 2013 4:30:10 AM PDT	401614348529575897	REVIEW	withdrawal	Transactions per Accou
June 9, 2013 4:30:09 AM PDT	269049309814639968	REVIEW	withdrawal	Transactions per Accou
June 9, 2013 4:30:09 AM PDT	180142136422026272	REVIEW	login	Accounts Per Device - 3

Business Rules Editor [List Manager](#)

Customize Your Rule Sets

Getting Started...

Welcome to the iovation Business Rules Editor. The Editor allows you to contain weighted business rules. Within a rule set, you can drag and drop rules to reflect the types of risk you want to defend against.

There is a help file that provides information on using the editor, such as view the Help.

Here are a few terms to be familiar with:

- Rule set:** a collection of rules to be applied at customer touch points
- Rules:** the conditions you want iovation to evaluate for transactions of
- Thresholds:** The Allow, Deny or Review response is determined by

deposit

login

payment

signup

withdrawal

deposit Total Active Rules: 13

When a user is making a deposit or requesting a withdrawal.

Deny threshold: -100 **Review threshold:** -1

[collapse all](#)

ROW #	WEIGHT	RULE TITLE	SCOPE	STATUS	DELETE
1	-1	Subscriber Evidence Exists Subscriber Evidence Exists	Compound Rule Only	ON	X
2	-1	Transactions per Device - 5 in 15 Mins Transactions per Device (local)	Compound Rule Only	ON	X

deposit Description: Evidence placed by other iGaming subscribers - All types

Type: **Either**

Evidence Proximity: **Either**

Evidence List: [Cheating Evidence \(modify\)](#)

Subscriber List: [iGaming subs \(modify\)](#)

Invert Rule:

deposit Description: Device has attempted 5 transactions in 15 minutes

Number of Transactions: 5

Time: 15

Time Unit: **Minutes**

Restrict to Rule Set(s): [Not Specified \(all will be included\) \(modify\)](#)

Save Rule Set

Rule Menu:

- anomaly
- evidence
- geolocation
 - Country List
 - Geolocation Mismatch
 - ISP Mismatch
 - IP Mismatch
 - IP Address Distance
 - Proxy in Use
 - ISP Match
- risk profile
- velocity
- watch list
- compound

DRAG AND DROP RULES

導入事例

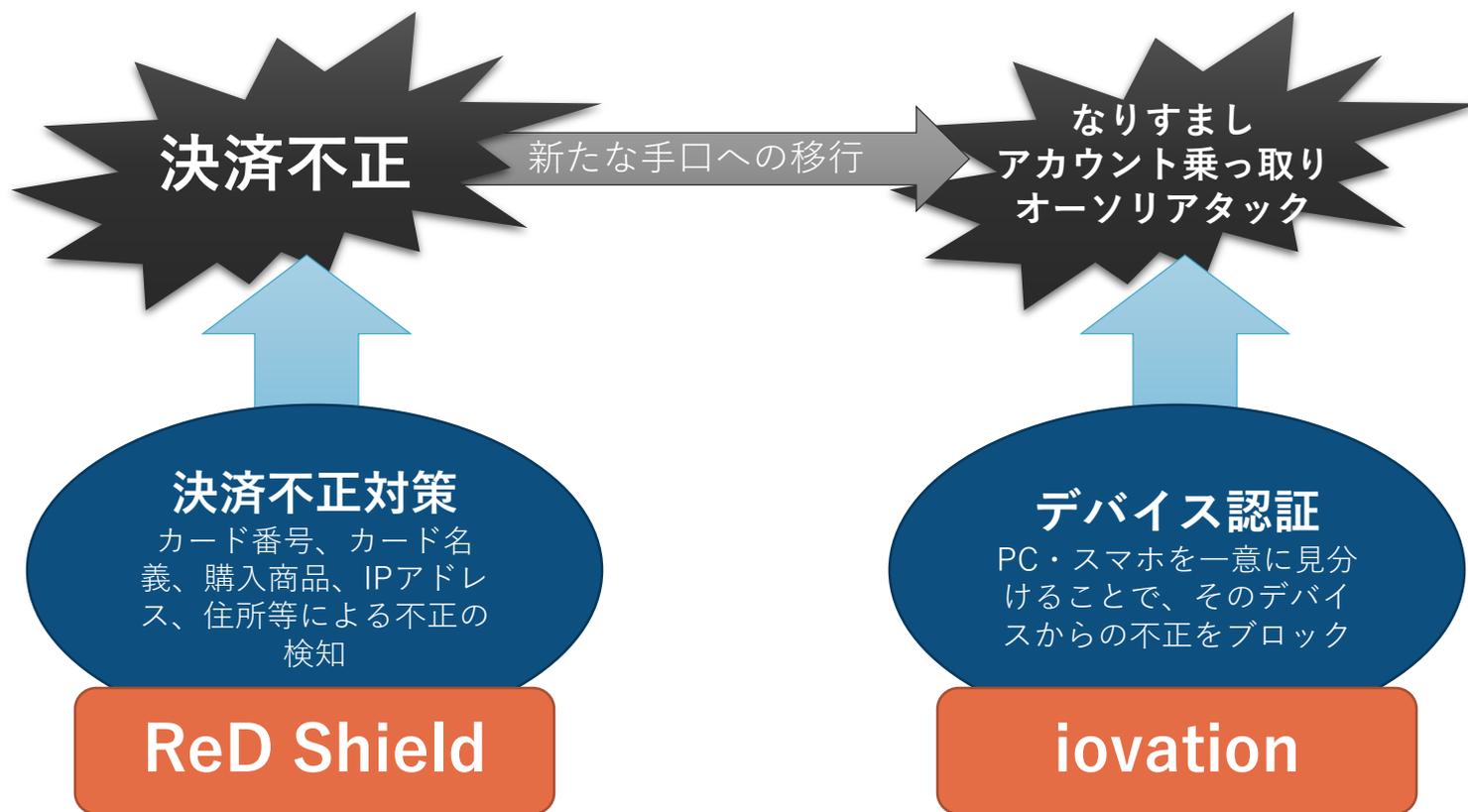
国内A社 (金融会社)

大量の会員登録を行い、会員登録時の特典ポイントを詐取されていた。
iovation導入により、不正会員登録の95%以上を自動でブロックし、残り5%の怪しい登録は目視で確認する運用を採用。

国内B社 (旅行会社)

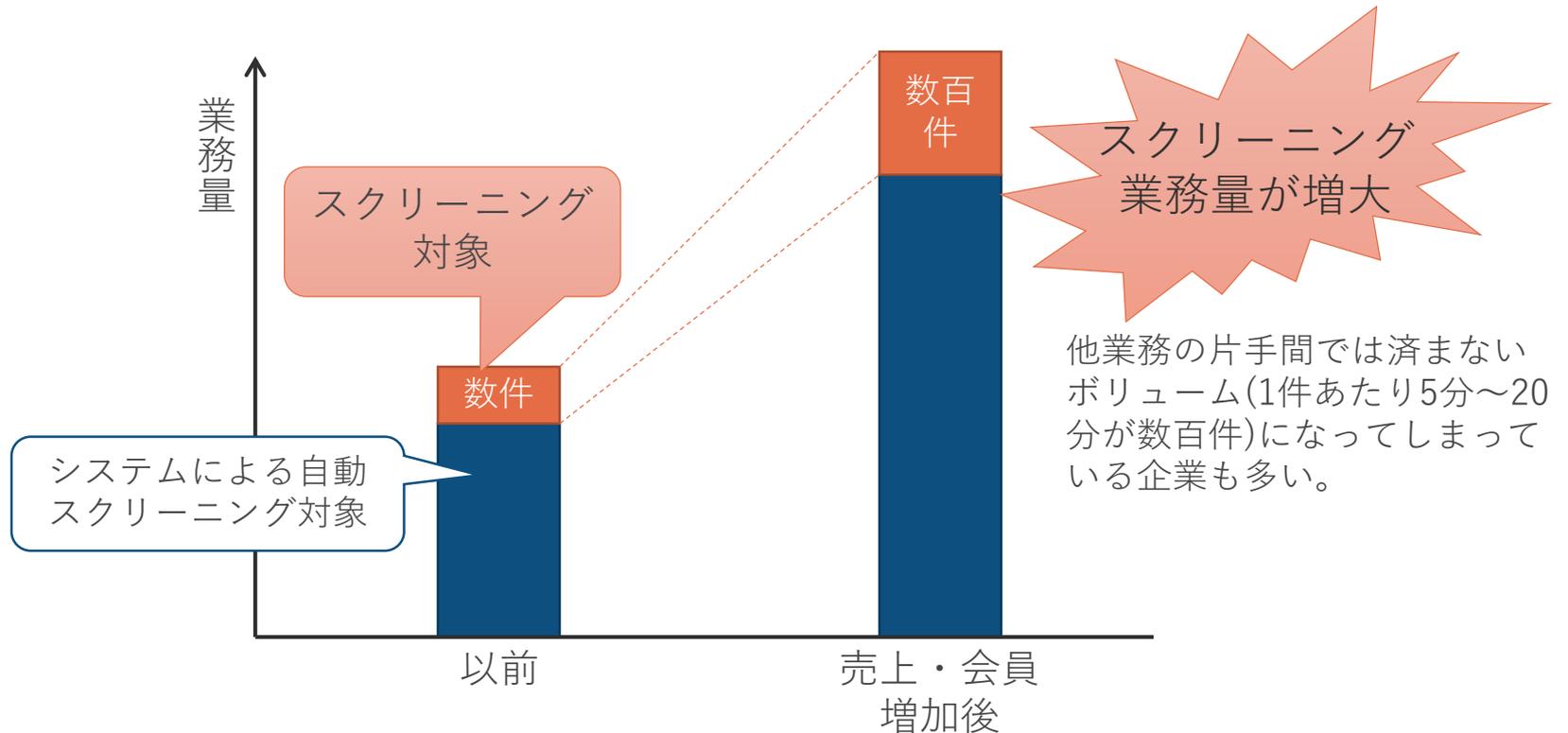
決済不正対策済みだったが、なりすましにより他人のポイントを詐取されるケース、またアカウント乗っ取りでも他人のポイントを詐取される被害があった。
iovation導入により、98%以上の不正を防止。

デバイス認証を導入することで、なりすまし、アカウント乗っ取り等の不正行為をほぼ止めることができます。



決済時の不正対策をしても、想定を超える手口で不正者集団は攻撃してきます。会員登録やログインのタイミングでもデバイス認証による不正対策が必要になっています。

もう一つの課題



不正対策の共通の課題として、スクリーニング業務(目視)の増大は弊社クライアント企業様においても見過ごせない問題になっています。次章では業務負荷の軽減に向けた取り組みをご紹介します。

第2部 スクリーニング業務の最適化とRPA

ジグザ株式会社 代表取締役 櫛田和洋

会社概要

社名	ジグザ株式会社 (英名 : ziggxa inc.)
設立	2012年6月
代表取締役	櫛田 和洋
所在地	〒170-0003 東京都豊島区駒込2-3-6 駒込北口ビル2 2F
HP	http://www.ziggxa.jpn.com/

代表者経歴

東京大学工学部卒。日本キャップジェミニアーンストアンドヤング、スカイライトコンサルティング株式会社を経て、ジグザ株式会社を設立。専門分野は、AI・IoTなどのITテクノロジーを活用した新規事業開発・業務改革の実現、IT技術を事業に活用するためのアドバイザー業務など

「自動化による効率的でHappyな社会の実現」

「今後10~20年で47%の仕事は機械に奪われる」

～オックスフォード大学 准教授 マイケル・オズボーン氏

● 単純労働からの解放

自動化・機械化が当たり前の時代がそこまで来ています。AI(人工知能)などの活用により、単純業務は自動化され、人間はより付加価値の高い業務にあたることとなります。

ジグザは、AIなどのテクノロジーを活用した効果的かつ的確な効率化の提案を得意としています。

● 慢性的な人不足の解消（採用・人材育成コストの抑制）

団塊世代の高齢化、若年層の減少、という人口の構造的な問題からくる課題はどの職場でも起きています。できるだけ早く自動化・機械化に取り組むことで、コストは抑制可能です。

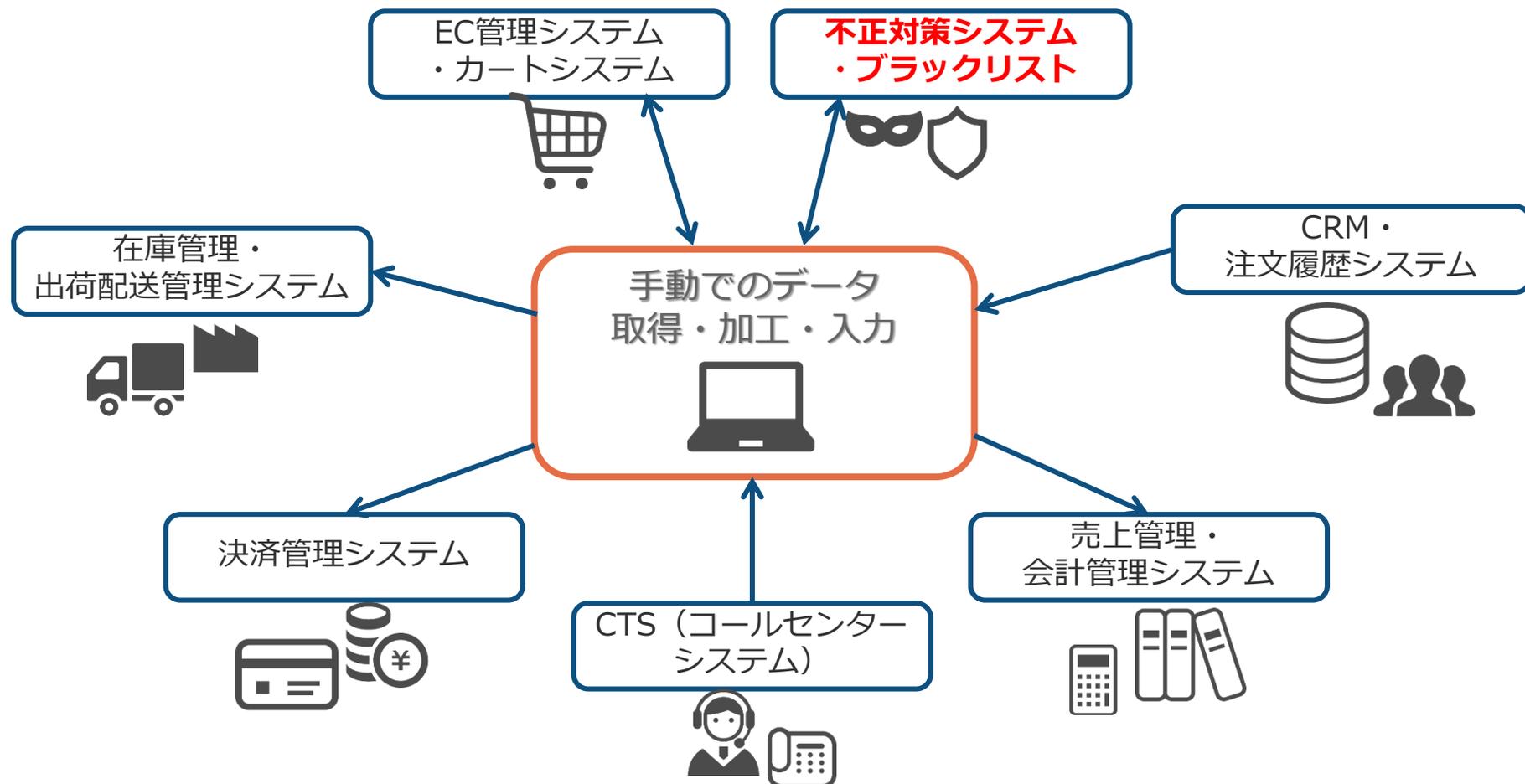
ジグザは、高度な専門知識・経験を活かし効率的かつ俊敏に効率化を実現します。

● 効率的でありながら品質向上・ミスのない業務へ

AIなどによる自動化・機械化を推進しても、はじめからトラブルがゼロになるわけではありません。ビジネスの変化に合わせて、フォローを行い、改善を続けることで、品質は高まりミスは撲滅されます。

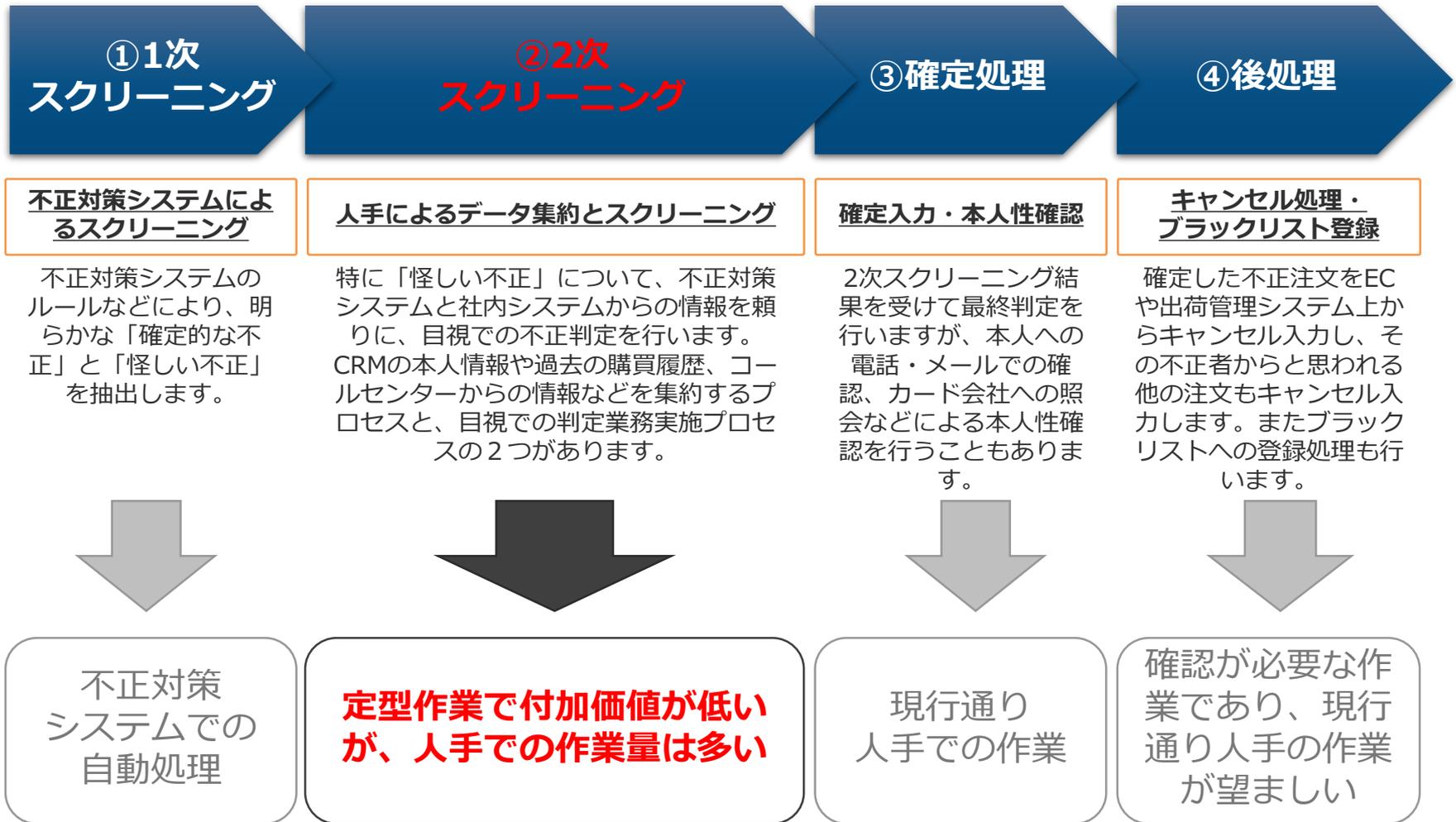
ジグザは、**継続的かつ柔軟**に状況に捉え、お客様企業の成功を継続的にサポートします。

企業内に点在するEC・不正対策システム



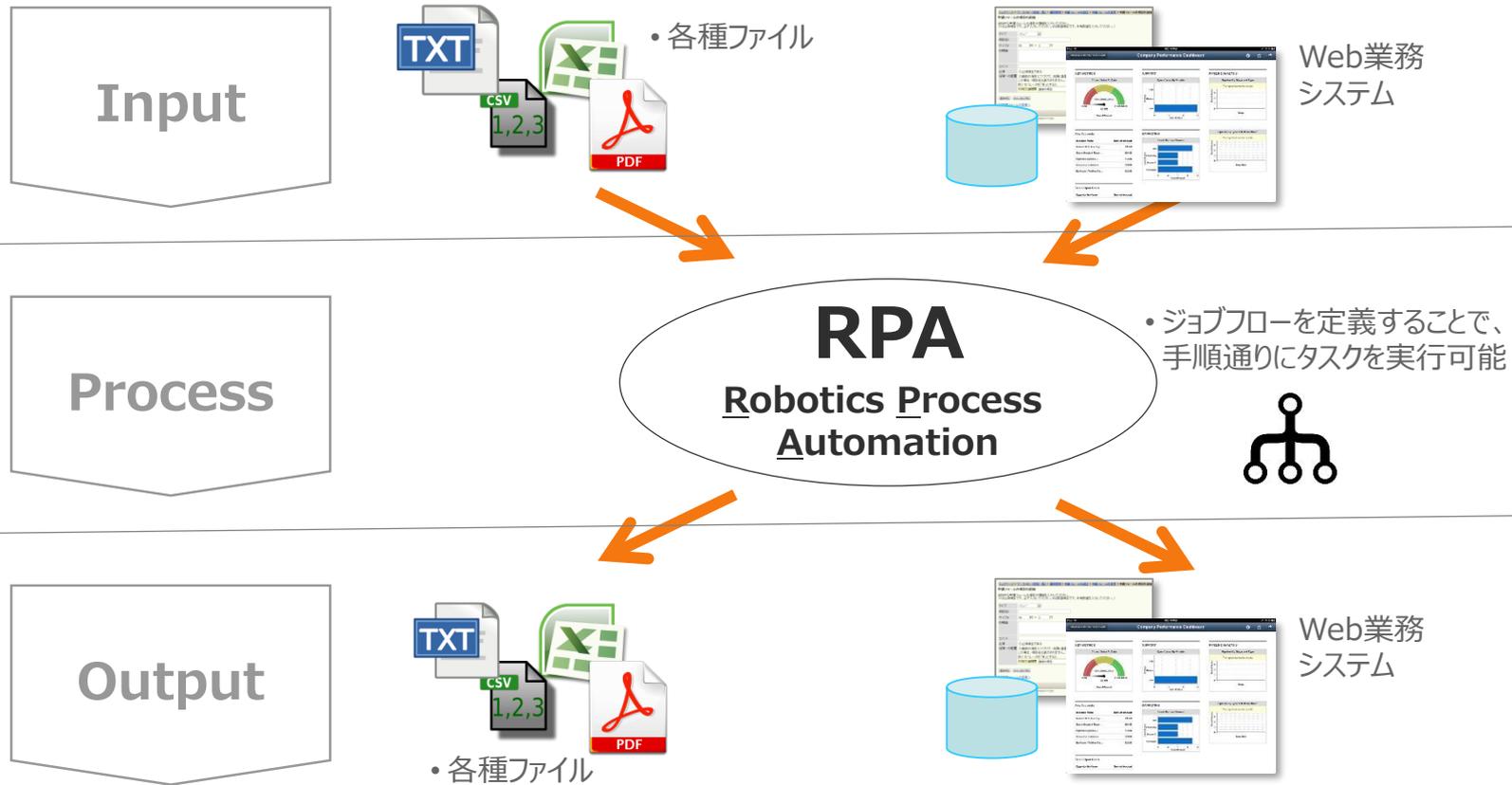
決済不正対策業務の実施には、社内の様々なシステムとのデータのやりとりが不可欠ですが、手動による操作がどうしても発生しています

一般的な不正対策の業務の流れ



「2次スクリーニング」は、付加価値が低く、定型的な手動業務処理であり、この業務を省力化することがコスト抑制に効果的です。

RPAとは？



**RPAは複数のシステムやファイルにまたがった処理を実現できるため、
2次スクリーニングの工数=コスト削減が可能です。**

- 設定の難易度が高い
 - ツールごとにトレーニングが必要
 - WebなどのIT知識が要求される
 - できることに限度がある
- コストがかさむ
 - ライセンス費用以外に、設計・構築・メンテナンスは、別途内部での対応か、外注する必要がある

結果的に・・・

プロジェクトが
とん挫することもある

費用対効果が取れないこ
とがある

導入期間が思ったより
長引く

便利なツールであるものの、いざ導入しようとするとなんかしらがありプロジェクトがとん挫している企業も多いです。

弊社のアプローチ

【特長 1】 Comfortable

設定も費用にコミコミ
煩わしい設定は弊社で実施
します。
ご自分でツールの使い方を
学習する必要もありません。

【特長 2】 Flexible

できない処理はほぼなく
「完全自動化」が可能！
既存RPAでは対応できない
処理も、という制限はほと
んどありません。

【特長 3】 Low Cost

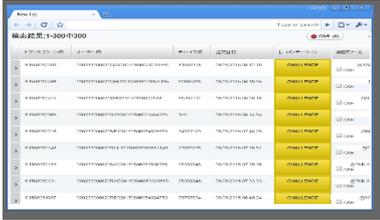
オープンソースベースでの
システム
ライセンスに費用をかけず
業務設計と設定に絞ってコ
ストを掛けられます。

画面イメージ

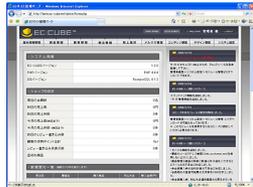


導入事例

不正検知システム (1次スクリーニング)



EC販売管理システム (社内)



顧客管理システム (Salesforce)



取引Noから社内の販売管理システムの履歴や、顧客データと突合して、Excelに転記（作業）

「1人で複数商品を買っている場合でも、商品本体と付属品であればOK」等、ルール化できるものを判断

定型チェックを抜けてきた最終判断が必要な取引のみを目視で確認して判断

データの集約
(検索→貼付け)

RPA化

定型的な判定

RPA化

確定処理
・後処理

2次スクリーニング

作業時間としては、この部分に全体の80%程度が掛かっていた作業をボタン1回押下で済むようになった

※RPA化により

- ・人員交代時の教育コスト
- ・マニュアルの作成・展開コストの削減も見込めます。

EOF

ご清聴ありがとうございました。